

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
人吉市	大畑地区C (上田代町、下田代町)	令和4年12月15日	なし

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	117.37 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	74.35 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	47.10 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	29.90 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.71 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.2 ha
(備考) アンケート調査(1回目) : 令和4年8月～令和4年9月 アンケート調査(2回目) : 令和4年10月	

## 2 対象地区の課題

アンケートの回答があった耕作面積のうち70歳以上の耕作面積は、63.35%を占めており、耕作者の高齢化、及び、後継者や担い手不足、鳥獣被害の増加が課題となっている。 過去に基盤整備が実施されているが、農道が狭く未舗装があり、大型の機械が入らないといった、農業用施設の整備の課題もある。
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用については、認定農業者や集落営農組織等の中心経営体に優先して、集積・集約化を促進する。 受け手が見つからない農地については、入作の受け入れにより対応する。
--

## (参考) 中心経営体

	農業者数	現在の経営面積	今後引受け意向の面積
計	9 経営体	31.6 ha	33.8 ha

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>中心経営体の予期せぬトラブルにより、耕作が継続困難となった場合に農地の一時保全管理や新たな受け手への貸付を進めることができるよう、農地の貸借は、農地中間管理機構を積極的に活用し、利用権設定を行っていく。</p>
<p>水田については、国・県・市の各種補助事業(例:経営所得安定対策事業)を活用し、収益向上(二毛作の実施、高収益作物の導入)を図る。 また、水稲作付を中心としながらも、振興局、JAと連携して新規作物を検討・導入する。</p>
<p>有害鳥獣(イノシシ、サル、シカ等)について、今後も多面的機能支払交付金事業を活用し、侵入防止柵(電気柵)の設置・維持管理と、農道・用排水路の軽微な補修などを人吉地域広域協定運営委員会で取り組む。</p>
<p>5年後、10年後、貸付等の意向が確認された農地は、214筆、155,437.78㎡(貸付:44,727㎡、売渡:110,710.78㎡)となっており、今回示された貸付等の意向が確認された農地も含め、今後も引き続き農地集積に取り組んでいく。</p>
<p>後継者や担い手の育成・確保に向けて、移住定住支援と連携して新規就農者を呼び込めるよう努める。</p>
<p>下田代地区では今後も中山間地域等直接支払事業交付金を活用し、農地等の維持・管理に努める。</p>